

Flags

vol.104 2014
1月号


用途に合わせてベストチョイス! 『様々な2次元コードスキャナ』

先月号は色々な「用途に合わせて選べる主な固定式タイプの2次元コードスキャナ」をご紹介いたしました。

今月号は主にパソコンに接続して手持ちで読み取らせるタイプで、スキャナの中でも一番多く利用されているハンディタイプのスキャナを紹介します。


ハンディタイプの各種スキャナ

【汎用型手動式スキャナ】

 ラベルや紙に印字された2次元コードの読み取りに最適で一番安価な標準タイプのスキャナです。


読取距離は10cm付近が読み取り易く、QRコードの場合、セルサイズ(一つのドット)が0.19mm以上の読み取りを推奨します。

【ダイレクトマーキング用スキャナ】

 ダイレクトマーキングの2次元コードを読む場合は、対象物の素材や印字品質により読み取る難易度が大きく変わります。電子基板にレーザーマーキングされた2次元コードは比較的読み取り易く、印字状態が良ければ汎用型スキャナでも読み取れますが、金属や鋳物にドットピンでのマーキングや液晶の淵などにマーキングされる1mm四方の極小2次元コードを読み取る場合などは、非常に難易度が高くダイレクトマーキング用スキャナの中でも特別な機器の選択が必要です。

手動式タイプの場合は、照明やレンズの選択までは出来ないため、読み取り距離はスキャナの仕様に合わせて読み取らせる必要があります。

【ESD対応ハンドスキャナ】

 静電気対策は、電子部品の製造現場で品質管理の一環として常識となり、近年では納品先のメーカーからも徹底した

静電対策環境での製造が要求されています。そのような製造現場で使用する従来のESD対応スキャナは、成型時に筐体の素材にカーボンを練り込む方法や、アルミ箔を巻くなど苦勞している場面が見られました。

当社のESD対策スキャナは先端のESD技術を有するパートナー様とタイアップして、ハードディスクを始め、半導体など、ESD対策が必須のユーザー様にも安心して使用いただける10の6~9乗と言う安定した抵抗値を実現しています。

【防爆エリア対応スキャナ】

 労働安全衛生法の改定により、危険場所で使用する電気機器は“産業安全技術協会(TIIS)”で型式検定を受けたものだけしか国内では使用できません。未検定の電気機器は使用者だけでなく、販売しても法律違反ということはご存知でしょうか?

粉じんや溶剤によって爆発性雰囲気がある現場も危険場所に該当する可能性があります。当然、危険場所で使用するスキャナもTIISで認可された機器しか使用できません。

防爆認可されたスキャナは選択肢が非常に少ないのですが、当社ではZone1まで使用可能な固定式スキャナ、ハンドスキャナ、ハンディターミナルのご提案が可能です。

※固定式スキャナはバーコードのみの読み取りとなります。

【抗菌ハンドスキャナ】

衛生面が非常に重視される医療／

THIR-6780
マルチアプリケーション2次元コードハンディスキャナ



2パターンの照明を搭載することにより、汎用スキャナでありながら、ラベルからダイレクトマーキングの読み取りまで幅広い読取りシーンに対応しました。

医薬機関などで利用いただく為に、スキャナボディの素材自体に抗菌技術を施しているスキャナです。



抗菌スキャナの抗菌方法には、ボディを抗菌材でコーティングする方式とボディの素材自体に抗菌技術を施す方式があり、後者の抗菌性能は表面をコーティングしただけの製品とは比べ物になりません。

抗菌に対しては、間違った認識を持たれている場合があります。抗菌は菌が繁殖しようとする機能を妨害・低下させるの機能で、消毒による滅菌の効果とは異なります。

読み取り性能については、汎用手動式スキャナがベースとなっているので、通常の運用では汎用型スキャナと遜色はありません。

【モバイルタイプ】



モバイルタイプは、作業者が携帯し、対象物まで移動して読み取らせる事が出来ます。

倉庫での入出庫作業や、宅配便のドライバーさんが携帯して荷物の配達履歴の管理などで利用されています。

モバイルタイプは、データ転送方法により大きく3つに分類できます。1つは“バッチタイプ”と呼ばれPCとUSBの接続でデータを転送します。

2つ目は“無線タイプ”で、構内の無線

LAN に接続して、現場にしながらリアルタイムに問い合わせやデータ転送が可能で最近流行の方法です。最後、3 つ目は公衆回線を利用してデータを転送する“3 G タイプ”で、携帯電話で通話できるエリアであればどこからでもデータ通信を行うことができます。宅配便のドライバー端末として大量に採用されており、荷物の到着と同時にパケット通信で本部のサーバにデータが登録されます。

読み取り性能は、汎用型手動式スキャナのスキャナ部がベースとなっているので、通常の運用では汎用型スキャナと遜色はありません。

【おわりに】

様々な 2 次元コードスキャナを紹介しましたが、これでもすべては紹介しきれいていません。実際には、もう少し細かな運用条件を検討する事により現場に最適なスキャナが選定でき

るのですが、運用条件をユーザーにて事前に洗い出して最適な機器を探し出すのはかなりの労力を要します。

スキャナ選定時には“〇〇を実現したい”、“〇〇を解決したい”など、現場の様々なご要望を当社営業担当までお聞かせいただければ、条件の洗い出しからベスト機器の選定までアドバイスさせていただきますのでお気軽にお問い合わせください。

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます
旧年中は弊社事業に際しまして 格別のご高配を賜り
誠に有難うございました
社員一同 心より厚く御礼を申し上げます

さて、昨年 2013 年の世相を表す漢字一文字は「輪」が選ばれました。2020 年の開催が決定した東京オリンピック五輪招致の成功が一つの大きな要因ですが、一方で大震災後の被災地復興へ向けた惜しみのない援助の「輪」が、今でも日本各地で広がりが見えないことも選ばれた理由の一つでありました。

弊社は、マースエンジニアリンググループの輪の一員として、自動認識分野の市場開拓を使命と考え、日々鋭意努力を重ねております。より一層大きな輪を広げる努力をいたします。

そんな中、今年 2 月には、ロシア・ソチで冬季オリンピックが開催されます。日本人メダル獲得数が気になるところです。また、昨年来のアベノミクス効果にて少しずつ好転の兆しが見える景気動向に対して、今年 4 月にスタートする第一段目の消費税値上げがどう影響するかも心配されます。

一方で、自動認識市場においては隣国中国の環境問題、韓国との歴史問題など両国との関係改善の遅れや経済効果がより高く見込まれる他の ASEAN 諸国に生産拠点を移す動きがより一層加速されるものと予測されます。6 年後の東京オリンピック開催に向けて国際社会との融合を図る整備のための公共投資は、新都知事の人選如何に関わらず、景気回復への原動力となるものであると確信しています。これらは弊社にとっても大きなビジネスチャンスの原動力になるものであり、これを機にさらなる飛躍の一年にしていきたいと考えます。

今年弊社では、よりグローバルに世界情勢を見極め、国内外の市場への販路拡大の輪を拡げて参ります。そのためにも、お客様との信頼の「輪」をより大切にし、お客様のニーズを真摯に受け止め、そしてより深くご愛顧を賜りたく、社員共々一致団結して精度の高い製品作りに邁進して参ります。販売力と技術力の両輪を強化して、お客様本位の価値あるサービスの提供を続けていく所存であります。

何卒、今年も変わらぬお引き立てを賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

2014 年 1 月
株式会社マーストーケンソリューション
代表取締役社長

村上 浩

第 31 回 **エレクトロテスト ジャパン**
エレクトロニクス検査・試験・測定・分析技術展

会期：2014 年 1 月 15 日 [水] ~ 17 日 [金]
10:00 ~ 18:00 (最終日は 17:00 終了)
会場：東京ビッグサイト 東展示場

当社グループ会社の「マース東研 X 線検査会社」が製造販売する X 線検査装置を展示します。

詳細のお問合せ：042-484-6155

AUTOID & COMMUNICATION EXPO OSAKA
第 10 回 **自動認識総合展 大阪**

会期：2014 年 2 月 12 日 [水] ~ 13 日 [木]
10:00 ~ 17:00
会場：マイドームおおさか 1 階展示場

今年も関西で唯一の自動認識総合展に出展いたします。各種スキャナ等を展示してお待ちしています。

詳細のお問合せ：03-3352-8522

無料招待券は当社営業担当まで

次号予告

2014 年 2 月号は...

『簡単！ローコスト！
すぐに使える照合システムの構築』
をご紹介します。

Flags 2 月号は 2 月 7 日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2014 年 1 月号 Vol.104 2014 年 1 月 8 日発行

編集・発行 株式会社マーストーケンソリューション

編集事務局：03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿 1-8-5	新宿御苑町ビル
	Tel: 03 (3352) 8522	Fax: 03 (3352) 8579
名古屋営業所	Tel: 052 (565) 9091	Fax: 052 (565) 9094
大阪営業所	Tel: 06 (6353) 5476	Fax: 06 (6353) 6125
福岡営業所	Tel: 092 (441) 3638	Fax: 092 (441) 3639
日立営業所	Tel: 029 (276) 9555	Fax: 029 (276) 9556